makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

ダイヤテックドリル

回 モデル DT0600

二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要のない製品です。
このマークを表示した製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、又は準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ダイヤテックドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

<table>
<tr><td colspan="2">モデル / 主要機能</td><td>DT0600</td></tr>
<tr><td colspan="2">電動機</td><td>直巻整流子電動機</td></tr>
<tr><td colspan="2">電圧</td><td>単相交流 100V</td></tr>
<tr><td colspan="2">電流</td><td>5.5 A</td></tr>
<tr><td colspan="2">周波数</td><td>50-60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>520W</td></tr>
<tr><td colspan="2">回転数</td><td>10,000min^{-1}（回転 / 分）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">穴あけ能力</td><td>穴あけ深さ</td><td>0 ～ 100mm</td></tr>
<tr><td>穴径</td><td>φ5 ～ 12.5mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">全長</td><td>498mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>2.7kg</td></tr>
</table>

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-4

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で､子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠ 警告

10. 防音保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。

・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。

・ 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。

・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 使用しない、又は修理する場合。

・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。

・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。

・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20.油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業所に修理を依頼してください。
・ スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ダイヤテックドリル安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ダイヤテックドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB066-1

⚠警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 回転中のビットにコードが接触しないようにしてください。
・ 感電の原因になります。
4. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
5. 使用中は、キリなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 工具類（ダイヤビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 冷却剤ボンベは空の状態で使用しないでください。
・ ダイヤビットが発熱し使用できなくなります。
・ この場合やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。

注

・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

冷却剤ボンベ安全上のご注意

冷却剤ボンベは、高圧ガス（DME/CO_2）を使用した可燃性の製品ですので下記の注意事項を必ず守ってください。

⚠警告

● 容器（ボンベ）が加熱すると容器内の圧力が上がり爆発の恐れがあります。次のような行為はおやめください。
・ 容器をストーブ（ファンヒーター）などの熱気のある所に置かないでください。
・ 容器を火の中に投げ入れないでください。

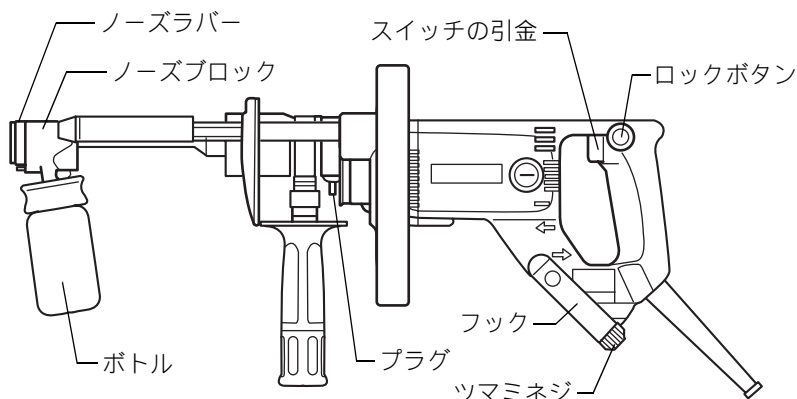
破裂注意

● 車内・清掃車内爆発
自動車内に放置しますと車内温度上昇により爆発の恐れがありますので自動車内に放置しないでください。火災の恐れあり。容器は完全に使いきってから、ほかのゴミと区別して捨ててください。
● 使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液をすべて流し出してから廃棄してください。
● 容器は 40 ℃以下で湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。高温の場所に保管すると爆発・火災の恐れがあります。また容器に錆が発生している場合には、液漏れがないことを確認後、できるだけ早く使用してください。
● 炎天下で使用する時は、必ず容器を日陰に静置してください。
● 人体に向かって噴射しないでください。
● 目に入った時は、大量の水で洗い流してください。もし異常がある場合は医師に相談してください。また口に入った時は、飲み込まず、うがいをし、医師に相談してください。
・ 使用目的以外に使用しないでください。
・ 有機溶剤配合ですので使用の時は十分に換気をしてください。
・ 子供の手の届く所に置かないでください。
・ 直射日光のあたる所に置かないでください。

⚠警告

火気と高温に注意

- 炎や火気の近くで使用しないでください。
- 火気を使用している室内で使用しないでください。
- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40 ℃以上となる所に置かないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 使い切って捨ててください。

各部の名称および標準付属品

標準付属品

- ビットボディ 6,8.5,10.5,12.5

- スパナ 3.5-13

- ダイヤビット 6,8.5,10.5,12.5

- チューブコンプリート

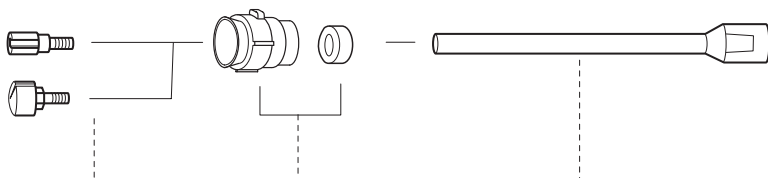
- リングセット品 6,8.5,10.5,12.5
  (ノーズラバー + リング + スポンジリング)
  ※ビットボディ、ダイヤビット、リングセット品は各サイズごとにセットにして同梱しています。

- ボンベホルダ
  ※ボンベホルダ別売りモデルをお買い上げいただいた場合で、冷却剤を使われる場合はボンベホルダと冷却剤ボンベを、水を使われる場合は、水タンクとジョイントコンプリートを別売りにてお求めください。

- ホース（3m)

- プラスチックケース

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。

・ **ダイヤビット**

刃物径(mm)	部品番号
5	A-31865（5個1組)
6	A-31859（5個1組)
6.5	A-31843（5個1組)
8	A-33439
8.5	A-33277
10	A-33445
10.5	A-33283
12.5	A-33299

・ **リングセット品**

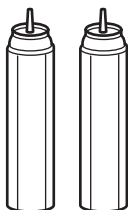
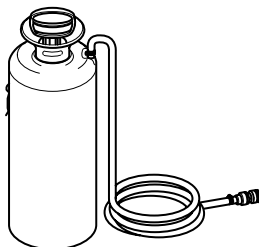
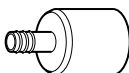
名称	部品番号
リング5セット品	193775-9
リング6・6.5セット品	193776-7
リング8・8.5セット品	193777-5
リング10セット品	193778-3
リング10.5セット品	193779-1
リング12.5セット品	193780-6

・ **ビットボディ**

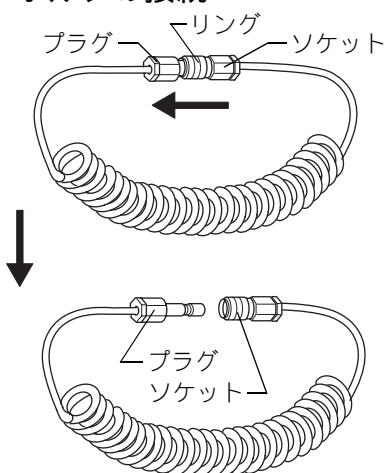
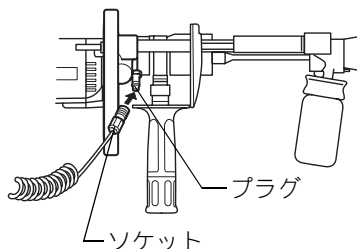
名称	部品番号
ダイヤビット5用	A-31837
ダイヤビット5用 座ぐりビット9.3用	A-31821
ダイヤビット8・8.5用	A-33308
ダイヤビット10用	A-33451
ダイヤビット10.5用	A-33314
ダイヤビット12.5用	A-33320

・ **座ぐりビット**

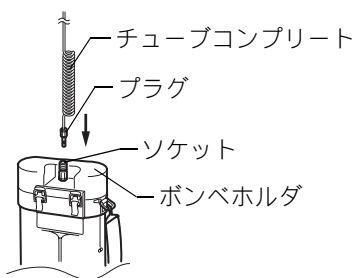
刃物径(mm)	部品番号
9.3	A-31871（5個1組)

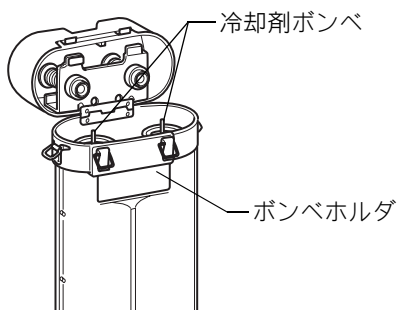
・ **冷却剤ボンベ**
部品番号 A-31815(1箱6本入り)
(2本セットでご使用ください)

・ **水タンク**
部品番号 SC00000554

・ **ホースジョイント**
部品番号 A-34665

・ **ジョイントコンプリート**
部品番号 A-34671

本機、チューブコンプリート、ボンベホルダの接続

・ チューブコンプリートのソケットとプラグを右図のように、リング部をずらして取り外してください。

・ チューブコンプリートのソケット側を本機のプラグに差し込んでください。

注

・ チューブコンプリートを本機より取り外す際、プラグより冷却剤が噴出する場合があります。顔などにかからないように注意してください。

チューブコンプリートのプラグ側をボンベホルダのソケットに差し込んでください。

ボンベホルダへの冷却剤ボンベのセット方法

・ 冷却剤ボンベは必ず２本ずつセットしてください。

注

・ 冷却剤ボンベ交換時、ボンベホルダのフタを開けた時、ボンベとフタの接続部分より冷却剤が噴出する場合があります。顔などにかからないように注意してください。

使い方

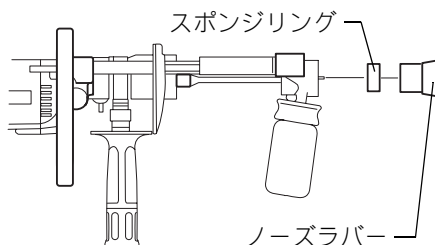
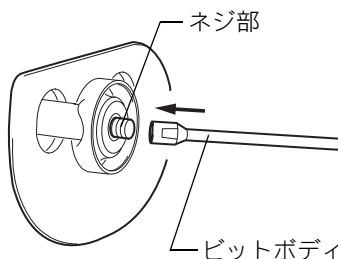
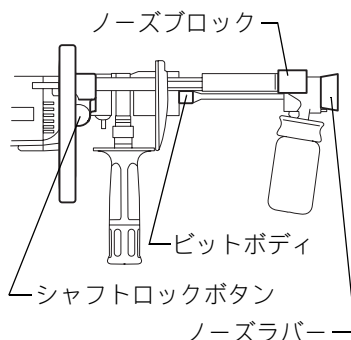
ダイヤビット、ビットボディの取り付け方

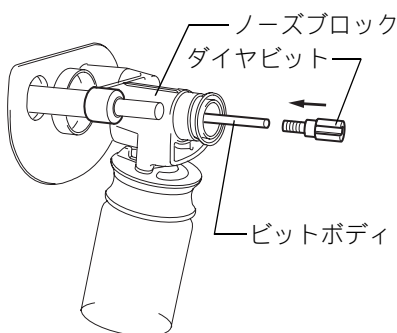
⚠警告

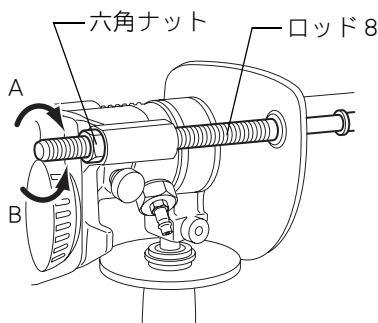
ダイヤビット、ビットボディの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。また本機からチューブコンプリートを取り外してください。

・ プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

ビットボディの取り付け方

・ ノーズラバーを取りはずしてください。
・ ビットボディを本機ネジ部に右に回してネジ込んでください。
・ シャフトロックボタンを押しながら、付属のスパナでしっかり締め付けてください。
・ ビットボディを取り付けた後、スポンジリング、ノーズラバーの順に取り付けてください。
・ ビットボディのサイズに対応したリング、スポンジリングを取り付けてください。(P11 参照)

ダイヤビットの取り付け方

- ノーズブロックを押し下げてください。
- ビットボディにダイヤビットを右に回してネジ込んでください。
- シャフトロックボタンを押しながら、付属のスパナでしっかり締め付けてください。
- 取りはずす場合は取り付け方の逆の要領で行ってください。
- ビットボディのサイズに対応したダイヤビットを取り付けてください。(P11 参照)

穴あけ深さの調節

- 六角ナットを付属のスパナでゆるめてください。
- ロッド8 を回して穴あけ深さを調節してください。
- A 方向に回せば浅く、B 方向に回せば深くなります。
- 穴あけ深さを調節後、六角ナットを付属のスパナでしっかり締め付けてください。

使い方

スイッチの操作

⚠警告
電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。 ・　スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

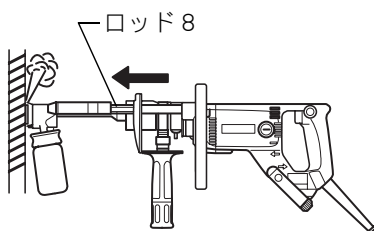
- スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

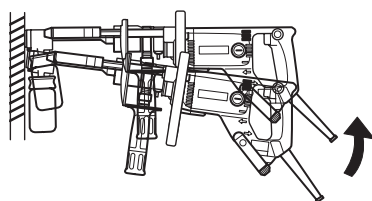
穴あけ方法

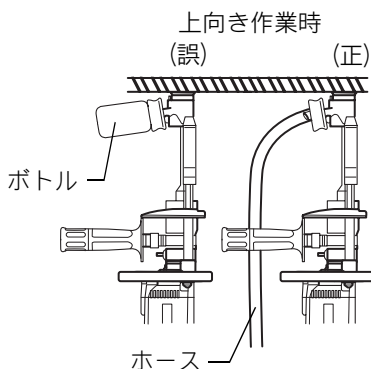
⚠警告
必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された、感電防止用漏電しゃ断装置の設置された電源で使用してください。 **無い場合は、マキタ純正漏電しゃ断器を使用してください。** **本機は作業者を感電事故より守るため、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期すために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。** **冷却剤の廃液は可燃性がありますので、タバコ、マッチなど火気を近づけないで水でうすめて捨ててください。** ・　使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液を全て流し出してから廃棄してください。

使い方

スイッチを入れる前に

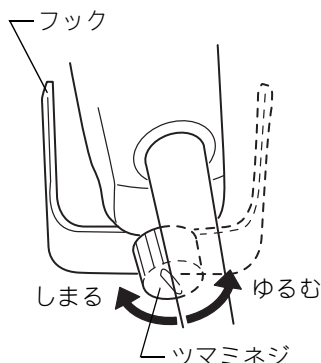
- ダイヤビットを壁面などに押し当て冷却剤が噴出することを確認してください。
- 穴あけ深さに合わせて、ロッド８のネジを調節してください。
- ボンベホルダが転倒しないようにしてください。
- 高所より落下しないようにボンベホルダの一部を固定してください。

スイッチを入れた後に

- ダイヤビットを押し当ててください。
- 斜めに当てますと位置決めしやすくなります。壁面が削れダイヤビットが滑らないことを確認しながらドリルを垂直に当ててください。

注

- **長時間の無負荷回転は本機が熱くなりますので十分注意してください。**
- **本機に冷却剤の廃液がかからないように十分注意してください。**
- **穴あけ直後は冷却剤が少量噴出することがありますので人に向けないでください。**
- **上向き作業時はボトルから冷却剤の廃液が流れ出る場合がありますので本機にはボトルのかわりに、付属のホースをつないで使用してください。**

注

- ２本組の冷却剤ボンベはまれに内圧の差により１本のみ冷却剤が極端に減る場合があります。この場合２本とも新品に交換してください。
- 作業中ダイヤビットの穴に切屑が詰まり冷却剤が出ないことがあります。このような場合にはダイヤビットを取り外して切屑を取り除いてください。詰まったまま使用すると作業能率が低下するばかりでなく、ビット損傷など故障の原因となります。
- 穴あけ中に本機をこじたり、強く押したりしないでください。本機を無理に押すと過負荷となり、モータ焼損の原因になります。

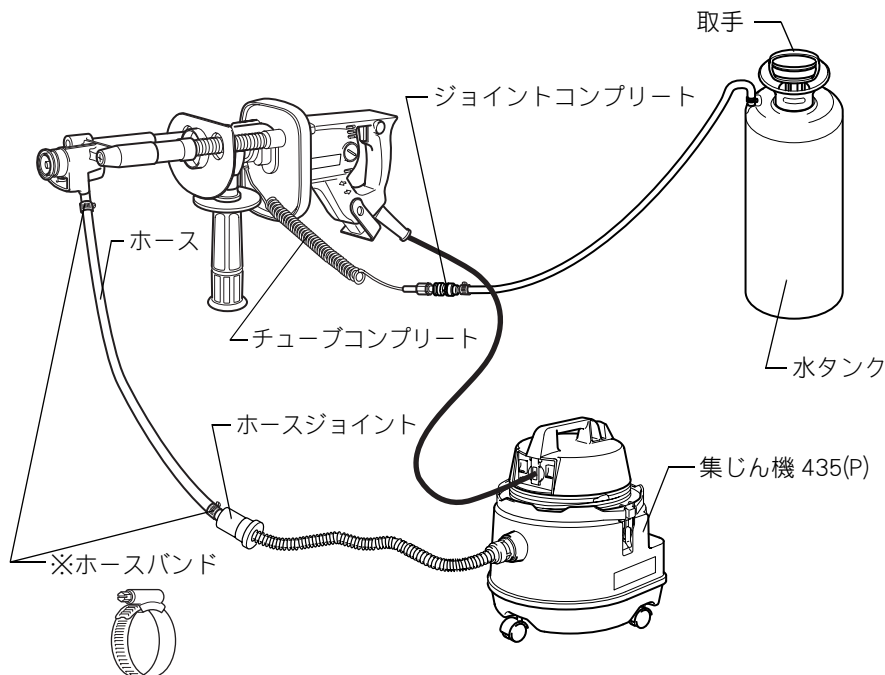
フックの使い方

- フックの取付方向、取付位置を変えることにより、本体の左右どちら側でも使用できます。また、フックの取付位置を変えることによりフトコロ寸法を２通りに使用できます。
- フックの付替えは、取付用ツマミネジを手で外すだけで行えます。

水タンクを使用する場合

⚠警告

冷却剤ボンベを使用する場合は、集じん機を接続しないでください。

・ 冷却剤には引火性の溶液が含まれていますので、爆発の恐れがあります。

・ 水タンクを使用する場合は、本機、水タンクを下図のように接続し、水タンクの取手を上下させ十分に加圧してください。
・ また、集じん機 435(P) を併用することで、より衛生的な作業が行えます。

※市販のホースバンドを使用してください。

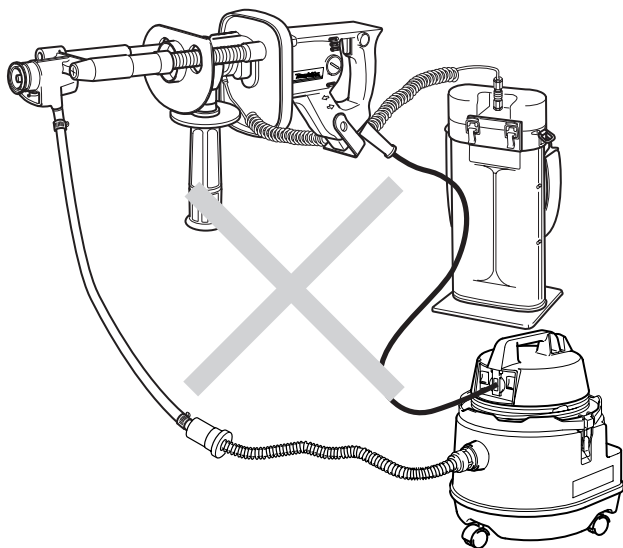
注

・ 使用中、水タンクの水圧が弱くなった時は、再度加圧してください。
・ 水圧が弱いまま使用すると、ダイヤビットに切り屑が詰まる原因になります。

⚠警告

冷却剤ボンベを使用する場合は、集じん機を接続しないでください。

・　冷却剤には引火性の溶液が含まれていますので、爆発の恐れがあります。

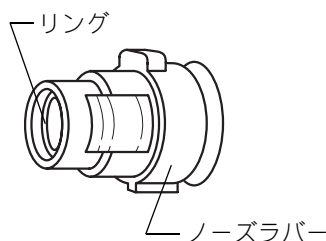
保守・点検について

⚠警告
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。 ・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

日常の清掃・点検

・　ボトル部は、作業中、常にコンクリートの切屑が付着します。この切屑をそのまま放置しますと固まってしまい、後で清掃がしにくくなります。

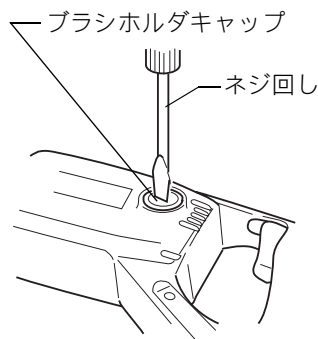
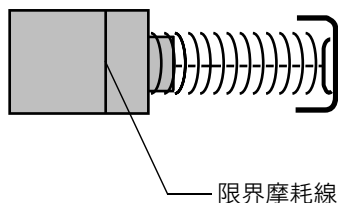
・　作業後はなるべく早く水などで清掃してください。また、スプリングのスライド軸の部分は特に注意し、時々グリスや油を付け、軸がスムースに動くように保守をしてください。

リングの交換

・　リングの穴の部分は使用するに従って摩耗し、穴が大きくなり、この部分から切屑の漏れが多くなります。この様なときはノーズラバーからリングを取り外し交換してください。

ノーズラバーの交換

・　ノーズラバーは壁面に多少凹凸があっても切屑が外へ流れ出さないようにするためのものですが常に壁面に押し付けられているため、使っているうちにその効果が低下してきますので時々交換してください。

カーボンブラシの交換

・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
  カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
  新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
  カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申しつけください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431

事業所名	電話番号
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

881946D7

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)